

## 2023 年度 事業報告

### 1. 概況

2023 年度の助成事業において、研究助成金は 1 件 200 万円を 80 名へ、総額 1 億 6,000 万円を交付した。ステップアップ研究助成では、1 件 400 万円を 10 名へ、総額 4,000 万円を交付した。さらに海外留学補助金は、1 件最大 700 万円（199～700 万円）、総額 4,453 万円を 11 名へ交付することを決定した。以上より、助成総額は 2 億 4,453 万円となった。

23 年度の研究報告会は、集合形式で開催した。最優秀理事長賞（副賞 100 万円／件）を 2 件、竹中奨励賞（副賞 50 万円）を 1 件選出した。

海外留学補助金受領者及び研究助成金受領者からの研究報告を、3 月にホームページへ公開した。

### 2. 運営について

#### 1) 第 1 回定例理事会 2023 年 6 月 10 日開催

第 1 号議案：2022 年度事業報告、収支報告の件 ⇒ 評議員会への上程を承認

第 2 号議案：新任学術委員および選考委員選出の件 ⇒ 学術委員及び選考委員候補全 4 名を承認

第 3 号議案：2023 年度選考委員分担の件 ⇒ 承認

第 4 号議案：資産運用の件 ⇒ 了承

第 5 号議案：定款および規程類改訂の件 ⇒ 規程改訂と評議員会への上程を承認

第 6 号議案：2023 年度定時評議員会招集の件 ⇒ 承認

第 7 号議案：理事長・専務理事 業務執行報告 ⇒ 承認

第 8 号議案：2023 年度研究助成金／海外留学補助金申請状況に関する報告の件 ⇒ 了承

#### 2) 定時評議員会 2023 年 6 月 28 日開催

第 1 号議案：2022 年度事業報告、収支報告の件 ⇒ 承認

第 2 号議案：2023 年度 第 1 回定例理事会報告の件 ⇒ 了承

第 3 号議案：定款および規程類改訂の件 ⇒ 承認

第 4 号議案：2023 年度研究助成金／海外留学補助金申請状況に関する報告の件 ⇒ 了承

第 5 号議案：今後の財団のありたい姿について ⇒ 意見交換

#### 3) 第 1 回資産運用委員会 2023 年 9 月 6 日開催

第 1 号議案：23 年度資産運用の件 ⇒ 資産運用案を理事長へ提案することを承認

#### 4) 選考委員会 2023 年 10 月 21 日開催

第 1 号議案：2023 年度研究助成金交付対象候補者・交付総額の件

⇒ 2023 年度研究助成金交付対象候補者 80 名へ総額 1 億 6,000 万円、及びステップアップ研究助成交付対象候補者 10 名へ総額 4,000 万円を交付することについて理事会への上程を承認

第 2 号議案：2023 年度海外留学補助金内定候補者・補欠候補者の件

⇒ 2023 年度海外留学補助金内定候補者 11 名、補欠候補者 21 名について

## 理事会への上程を承認

### 5) 第2回定例理事会 2023年10月21日開催

- 第1号議案：2023年度研究助成金交付対象候補者・交付総額の件 ⇒ 承認
- 第2号議案：2023年度海外留学補助金内定候補者・補欠候補者の件 ⇒ 承認
- 第3号議案：財団事務所移転の件 ⇒ 承認
- 第4号議案：資産運用報告 ⇒ 了承

### 6) 第1回学術委員会 2024年2月3日開催

- 第1号議案：2024年度海外留学助成事業の実施要領の件 ⇒ 理事会への上程を承認
- 第2号議案：2024年度研究助成事業の実施要領の件 ⇒ 理事会への上程を承認
- 第3号議案：2024年度研究報告会の件 ⇒ 理事会への上程を承認

### 7) 第3回定例理事会 2024年2月3日開催

- 第1号議案：2023年度事業報告、仮収支報告の件 ⇒ 承認
- 第2号議案：2024年度事業計画、収支予算書の件 ⇒ 承認
- 第3号議案：2024年度海外留学助成事業の実施要領の件 ⇒ 承認
- 第4号議案：2024年度研究助成事業の実施要領の件 ⇒ 承認
- 第5号議案：2024年度研究報告会の件 ⇒ 承認
- 第6号議案：規程類改訂の件 ⇒ 承認
- 第7号議案：理事長、専務理事の業務執行報告の件 ⇒ 承認

## 3. 事業について

### 1) 助成事業

2023年度は、研究助成金へ1,159件、ステップアップ研究助成へ45件、ならびに海外留学補助金へ190件ご応募を頂いた。詳細は表1に記載(p.4)。

2023年10月21日開催の選考委員会および第2回定例理事会の決定に基づき、研究助成金交付対象者80名(内、女性16名)に対し、1件200万円、計1億6,000万円を交付した。詳細は表2に記載(p.4~p.5)。

ステップアップ研究助成では、交付対象者10名(内、女性1名)に対し、1件400万円、計4,000万円を交付した。詳細は表3に記載(p.5)。

海外留学補助金については、本財団の助成を受けることを誓約した内定候補者11名に対して経済状況確認の面談を行い、その結果を踏まえて11名(内、女性2名)全員の合格と補助金額を決定した。合格者へは、1件199万円~700万円、総額4,453万円の交付を決定した。なお、採択者1名から辞退の申し出があり、これを受理した。詳細は表4に記載(p.6)。

### 2) 研究報告会

2021年度 研究助成金受領者50名による研究報告会を、2023年10月21日(土)に開催した。

選考委員から各会場で最も優秀な研究であると認められた2件に最優秀理事長賞(副賞100万円/件)を授与した。

選考委員から将来が期待される若手研究者として最も多くの推薦を受けた1名に竹中

奨励賞（副賞 50 万円）を授与した。

発表者の相互投票を基に、選考委員による確認を経て優れた研究発表 3 件を選び、優秀発表賞（記念品のみ）を授与した。

各褒賞受賞者は、表 5～表 7 に記載（p. 6）。

研究報告会プログラムを p. 7 に掲載。

### 3) 助成研究報告

海外留学補助金受領者及び研究助成金受領者からの研究報告を、助成研究報告集として 3 月にホームページへ公開した。

表 1. 2023 年度研究助成金等の申請者数および交付対象者数

項目	申請者数(女性数)	交付対象者数(女性数)	交付金額(万円)
研究助成金	1,159 名(226 名)	80 名(16 名)	16,000(200/件)
ステップアップ研究助成	45 名(10 名)	10 名(1 名)	4,000(400/件)
海外留学補助金	190 名(25 名)	11 名(2 名)	4,453(199-700/件)
総計	1,394 名(261 名)	101 名(19 名)	24,453

表 2. 2023 年度研究助成金交付対象者一覧

50 音順・敬称略・所属は申請時点		
氏名	所属	研究テーマ
藍川 志津	東京大学 医学部附属病院	mechanical stressを介した胚着床制御機構
浅岡 希美	京都大学 大学院医学研究科	「質・量」双方に着目した習慣制御メカニズムの解明
新崎 恒平	東京薬科大学 生命科学部・生命医科学科	オルガネラコンタクトを通じたレジオネラ治療薬の探索
有村 奈利子	東北大学 薬学部	認知機能を制御する新規体液成分の解明
今井 則博	名古屋大学 医学系研究科	肝疾患における2種類の核内脂肪滴の形成メカニズム
大我 政敏	麻布大学 獣医学部動物応用科学科	受精卵の代謝による発生制御とその応用を目指して
大島 健司	兵庫医科大学 医学部	大腸がんの転移に寄与する腫瘍代謝メカニズムの解明
岡江 寛明	熊本大学 発生医学研究所	ヒトの試験管内着床モデルの開発
岡田 寛之	東京大学 医学系研究科	サブセラーシーケンスによる骨粗鬆症創薬シーズ探索
小川 亜希子	東北大学 加齢医学研究所	RNA修飾を基軸とする新たな医薬品開発に向けて
奥村 正樹	東北大学 学際科学フロンティア研究所	小胞体内新たな区画を標的とした変性疾患の創薬基盤
小野 悠介	熊本大学 発生医学研究所	糖尿病による組織変容の分子基盤の解明
小野木 康弘	富山大学 学術研究部 教育研究推進系	肥満病態における脂肪組織ペリサイトの動的変化の意義
蔭山 俊	順天堂大学 医学部	GTPセンサーPI5P4K β異常によるNAFLD様病態機序の解明
梶本 真司	東北大学 大学院薬学研究科	疾患関連タンパク質ataxin-3の細胞内相挙動
川合 智子	岡山大学 学術研究院医歯薬学域	自律神経による精子力の調節機構の解明と改善法の開発
川内 大輔	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所	髄芽腫のエピゲノム解析による治療標的分子の探索
川根 公樹	京都産業大学 生命科学部	細胞脱落の実行機構の破綻と炎症性腸疾患の関連の解明
河原崎 和歌子	国際医療福祉大学 医学部 基礎医学研究センター	加齢に伴う高血圧・血管障害発症機序の解明と治療開発
木村 元子	千葉大学 医学研究院	腫瘍形成がもたらす中枢免疫抑制機構の解明と制御
清原 卓也	九州大学 大学院医学研究院	RNF213多型が脳卒中患者に及ぼす影響
久米 真司	滋賀医科大学 医学部	臓器局所の絶食応答機構と寿命・個体老化との関わり
久留島 潤	群馬大学 大学院医学系研究科	腸内細菌叢における薬剤耐性遺伝子の伝播機構の解明
黒滝 大翼	熊本大学 国際先端医学研究機構	クロマチン高次構造の変容を狙った新規炎症制御法開発
桑野 由紀	徳島大学 医歯薬学研究部	抗老化RNA uc.138のm6Aメチル化を介した発がん制御
小林 和弘	東京大学 総合文化研究科	GPCRの運命決定機構の解明
齊藤 康弘	慶應義塾大学 先端生命科学研究所	がん細胞における複合的細胞ストレス適応の分子機序
佐野 宗一	国立循環器病研究センター 研究所	血液の後天的X染色体喪失：女性の疾患への影響
澤田 雄宇	産業医科大学 医学部	細菌由来の短鎖脂肪酸による炎症性皮膚疾患の機序解明
新城 尊徳	九州大学 大学院歯学研究院	歯周炎にตอบสนองした脂肪組織好中球活性化の病的意義
鈴木 匠	茨城大学 理学部	ゲノム上の疾病原因箇所を迅速に特定する技術の開発
清家 圭介	岡山大学 学術研究院医歯薬学域	ミトコンドリアによるDN T細胞機能制御機構の解明
高橋 阿貴	筑波大学 人間系	攻撃行動の昂進とミクログリアの解明
高橋 沙央里	理化学研究所 生命機能科学研究センター	カニクイザル初期胚の染色体複製動態解析と進化的考察
高橋 望	東京大学 医学部附属病院	加齢卵子におけるミトコンドリア翻訳異常の解明
高畑 圭輔	量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 量子医学研究所	Long COVIDにおける神経免疫病態の統合的理解
竹内 春樹	東京大学 大学院理学系研究科	匂いを用いた認知症の予測と予防の開発
竹内 雄一	北海道大学 大学院薬学研究院	非侵襲的脳深部刺激によるうつ病の制御
但馬 正樹	京都大学 大学院医学研究科 附属がん免疫総合研究センター	代謝ストレスが免疫系に及ぼす時空間的影響の解析
田中 洋介	熊本大学 国際先端医学研究機構	細胞接触技術を利用した真の造血幹細胞ニッチの特定
坪山 幸太郎	東京大学 生産技術研究所	人工タンパク質の合理的設計法への挑戦
寺坂 尚紘	東京工業大学 地球生命研究所	受容体クラスター化アゴニストの指向性進化
土居 雅夫	京都大学 薬学研究科	脳内中枢時計を標的とした生体リズム活性化薬の開発
内藤 祐二郎	大阪大学 医学系研究科	セマフォリンの発現制御による新規がん免疫療法の開発
中島 振一郎	慶應義塾大学 医学部	アルコール依存症のニューロモジュレーション治療
中西 未央	千葉大学 大学院医学研究院	多能性幹細胞から成体造口幹細胞への成熟化誘導法開発
西原 達哉	青山学院大学 理工学部化学・生命科学科	組織内代謝物分布解析を実現する機能化TLCの開発
西山 功一	青崎大学 医学部医学科	生体力学的しくみにて血管新生を操作する
二村 圭祐	群馬大学 未来先端研究機構	多因子同時解析法による腫瘍不均一性獲得機構の解明
野々村 恵子	東京工業大学 生命理工学院	脳脊髄液産生組織におけるメカノセンシング機構の解析
野村 紀通	京都大学 大学院医学研究科	がん細胞メチオンin輸送体を標的とした構造創薬研究

表 2. 2023 年度研究助成金交付対象者一覧

50 音順・敬称略・所属は申請時点

氏名	所属	研究テーマ
長谷川 恵美	京都大学 薬学研究科	老化に伴う睡眠異常の発症メカニズムの探索
服部 奈緒子	星薬科大学 先端生命科学研究所	代謝プライミングによる抗HER2薬感受性増強法の開発
林 香	慶應義塾大学 医学部	DNA損傷とエピゲノム変化に着目した腎臓病病態の解明
林 慶和	福岡歯科大学 口腔歯学部	イタコン酸によるがん細胞生存戦略機構の解明
早野 元詞	慶應義塾大学 医学部	後天的エピゲノム変動を介した老化誘導の分子理解
人羅 (今村) 菜津子	熊本大学 生命科学研究所	行動選択の細胞集団メカニズム解明
平林 茂樹	九州大学 大学院医学研究院	家族性骨髄系腫瘍の発症機序解明
廣田 毅	名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研	時計タンパク質CRYの細胞質での機能操作化合物の開発
古山 溪行	金沢大学 ナノマテリアル研究所	生体内近赤外光反応技術の開発
星名 直祐	早稲田大学 高等研究所	高次脳機能を担う大脳神経回路の分子コード
堀 雄一郎	九州大学 大学院理学研究院	GLUT4動態を可視化するマルチ蛍光スイッチプローブ
前澤 創	東京理科大学 創域理工学部・生命生物科学科	世代継承性老化プログラムの解明
増田 隆博	九州大学 生体防御医学研究所	脳境界マクロファージによる疾患制御メカニズムの解明
松沢 優	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科	パネート細胞異常に着目したクローン病の病態解析
三浦 智也	岡山大学 学術研究院環境生命自然科学学域	創薬開発を指向したポリケチド天然物の効率合成
三上 優	東京大学 医学部附属病院	慢性低酸素に着目した特発性肺線維症の病態解明
三木 健嗣	大阪大学 ヒューマン・メタバース疾患研究拠点	小児心臓組織検体を用いた拡張型心筋症の病態解明
三室 仁美	大分大学 グローカル感染症研究センター	持続感染細菌の宿主適応機構解明と治療薬シーズ創出
三宅 健介	東京医科歯科大学 高等研究院	好塩基球の最終分化機構の解明
村上 慧	関西学院大学 理学部化学科	第4級アンモニウム塩のスイッチ可能な光触媒変換
安原 崇哲	京都大学 大学院生命科学研究所	白血病の原因となるゲノム異常発症機構の解明
山下 智也	神戸大学 大学院科学技術イノベーション研究科	シングルセル解析による動脈硬化の慢性炎症機序の解明
山田 康隆	千葉大学 医学部附属病院	進行前立腺癌における新規Theragnostic targetの開発
山次 健三	千葉大学 大学院薬学研究院	特異な反応性を活かした高収率近接ラベル化法の開発
山本 昌平	東京大学 薬学系研究科	革新的イメージング技術による中心小体複製原理の解明
湯浅 慎介	慶應義塾大学 医学部	幹細胞老化と骨格筋恒常性維持機構の解明と応用
横尾 英知	国立医薬品食品衛生研究所 有機化学部	磁気により制御可能なタンパク質分解誘導剤の創出
横溝 智雅	東京女子医科大学 医学部	造血幹細胞の誘導法の開発
吉本 哲也	広島大学 病院	骨細胞を新機軸とした慢性炎症機構の解明

表 3. 2023 年度ステップアップ研究助成交付対象者一覧

50 音順・敬称略・所属は申請時点

氏名	所属	研究テーマ	交付額(万円)
石黒 啓一郎	熊本大学 発生医学研究所	生殖細胞における減数分裂異常と不妊との関連研究	400
石津 綾子	東京女子医科大学 医学部	サイトカインによる造血幹細胞運命差別化機構の解明	400
井上 毅	東京大学 新世代感染症センター	液性免疫記憶を制御するイムノドミナンスファクター	400
遠藤 裕介	かずさDNA研究所 先端研究開発部	肥満における免疫病原性バイアスの分子機構解明	400
楠山 譲二	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科	胎盤の性差による母体胎仔情報伝達系の制御機構	400
齋尾 智英	徳島大学 先端酵素学研究所	光技術と構造生物学の融合による神経難病の機序解明	400
櫻井 雅之	東京理科大学 研究推進機構 生命医科学研究所	A-to-I DNA 編集に起因するがん化の診断技術開発	400
田中 克典	東京工業大学 物質理工学院・応用化学系	遺伝子変異がんの標的化と金属触媒治療	400
塚崎 雅之	東京大学 大学院医学系研究科	組織マクロファージ統合制御因子の同定と機能解明	400
西山 正章	金沢大学 医薬保健研究域医学系	オリゴデンドロサイトを標的とした自閉症治療薬の開発	400

表 4. 2023 年度海外留学補助金交付対象者・交付予定額一覧

50 音順・敬称略・所属は申請時点

氏名	所属	留学先	交付額(万円)
大宮 英恵	パーゼル大学 バイオセンター	パーゼル大学 バイオセンター	512
加藤 麦彦	東京大学 農学生命科学研究科	ニューヨーク大学 ランゴーン医療センター	249
高橋 邦彰	スタンフォード大学 医学部	スタンフォード大学 医学部	199
田渡 司	京都大学 薬学研究科	イリノイ大学アーバナシャンペーン校 化学科	249
長野 真大 <sup>1)</sup>	京都大学 大学院医学研究科	マサチューセッツ工科大学 工学部	250
濱谷 康弘	京都医療センター 展開医療研究部	ハーバード大学 プリガムアンドウィメンズ病院	249
日置 裕介	名古屋大学 生命農学研究科	ライブニッツ天然物研究所 ハンス・クノル感染生物学研究所	566
三澤 知香	クイーンズランド大学 化学工学部	クイーンズランド大学 化学工学部	529
山田 臣太郎	東京大学 医学部附属病院	ワシントン大学セントルイス校	250
山田 大輔	聖路加国際大学 聖路加国際病院	ロンドン大学 医用画像コンピューティング研究センター	700
吉治 智志 <sup>2)</sup>	京都大学 大学院医学研究科	マギル大学 医学部	700

1) 2024 年 4 月 10 日辞退の申し出を受理

2) 2023 年 12 月 19 日辞退の申し出を受理

表 5. 2023 年度最優秀理事長賞受賞者

50 音順・敬称略・所属は受賞時点

氏名	所属	研究テーマ
富樫 庸介	岡山大学 学術研究院医歯薬学域(医学系)	抗腫瘍免疫応答における所属リンパ節の役割の解明
新田 剛	東京大学大学院医学系研究科 免疫学	二重抗原特異性を示すリンパ球の意義

表 6. 2023 年度竹中奨励賞受賞者

敬称略・所属は受賞時点

氏名	所属	研究テーマ
星野 歩子	東京大学 先端科学技術研究センター	エクソソーム上ITGβ1が司るがん進展機構の解明

表 7. 2023 年度優秀発表賞受賞者

50 音順・敬称略・所属は受賞時点

氏名	所属	研究テーマ
小松 紀子	東京大学大学院医学系研究科 免疫学	関節リウマチの骨破壊誘導性細胞の同定と治療法の開発
乗本 裕明	北海道大学 大学院医学研究院	オーストラリアドラゴンの前障の役割の解明
山本 恵介	東京大学医学部附属病院 消化器内科	膵がん肝転移巣の代謝特性に注目した新規治療法の開発

# 公益財団法人 アステラス病態代謝研究会 第 53 回 研 究 報 告 会

日時：2023年10月21日（土） 11：00～18:00

場所：日本工業倶楽部 東京都千代田区丸の内1-4-6 TEL (03) 3281-1711

＜総合受付＞ 2階（開場10:00～）

<b>開会の挨拶</b>	理事長 熊ノ郷 淳	大阪大学 大学院医学系研究科 研究科長・医学部長 大阪大学 大学院医学系研究科 教授 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 教授	11:00-11:10
<b>研究発表</b>	第1会場 2階大会堂 第2会場 3階中ホール		11:10-16:42 11:10-16:42
<b>海外留学補助金受領者 帰朝報告</b>			12:10-12:50
<b>特別講演</b>	講演名 「細胞運命を司るシグナル伝達」		12:50-13:10
	発表者 理事 学術委員会会長 後藤 由季子	東京大学 大学院薬学系研究科 教授	
	座長 理事 山下 敦子	岡山大学 学術研究院医歯薬学域（薬学系）教授	
<b>竹中奨励賞受賞講演</b>	講演名 「新型コロナウイルスの2光子生体肺イメージング解析」		13:10-13:25
	発表者 理事 植木 紘史	東京大学医科学研究所・ウイルス感染部門	
	座長 理事 山下 敦子	岡山大学 学術研究院医歯薬学域（薬学系）教授	
<b>各賞投票</b>			16:42-16:55
<b>交流会</b>	3F 大ホール		17:00-18:00
<b>褒章受賞者発表 受賞者より一言</b>	理事・選考委員長 徳山 英利	東北大学 大学院薬学系研究科 教授	
<b>閉会の挨拶</b>	理事・学術委員会会長 後藤 由季子	東京大学 大学院薬学系研究科 教授	

## 付属明細書

補足すべき重要な事項はありません。すべて事業報告に記載済みです。

以上